

平成26年度 環境省リユース促進事業の概要

リユース全体についての検討

リユース促進事業研究会

意見交換会

- リユース業界との実務的な意見交換

市町村等における使用済製品リユースモデル事業
 ○市町村等とリユース業者などが連携して、リユースを行うモデル事業を実施(東京都八王子市、神奈川県逗子市、愛知県武豊町)
 ○平成23~25年度に実施したモデル事業のフォローアップ

中古衣類を対象とした海外でのリユース実態調査
 収集された中古衣類の輸出先、現地での利用状況など実態を調査

インターネットオークション・宅配リユースに関する実態調査
 近年、利用者・流通量が増加傾向にあると考えられる、インターネットオークション、宅配リユースに関する実態・流通状況やリユース促進に向けた自治体との連携方法等について検討・調査

分科会

- リユース業界に拘わる関係法令の整理(環境関連法以外)
- リユースに係る他国の動向把握
- リユース促進について

びんリユースについての検討

びんリユース推進方策の検討・調査

- びんリユースの可能性調査(学乳びんリユース等導入可能性、地方自治体リユース取組事例調査、宅配食におけるリユース可能性調査)
- 啓発事業としてシンポジウムの開催

びんリユース実証事業

- 自治体や事業者等の関係者が連携し地域内でびんリユースを促進するための実証事業を実施。5地域にて実施予定。
- 学校給食牛乳におけるびんリユースの促進を図るための実証事業を実施。3地域にて実施予定。

本年度の研究会のミッション

検討会での直轄的な検討事項

市町村等における使用済製品リユースモデル事業

⇒平成21年度(初年度)の検討において、市町村等におけるリユースは、先行事例に関する情報提供やリユース業者との連携によって推進される可能性ありとのことで、平成23年度から実施。
(H23:6件、H24:3件、H25:2件、H26:3件)

中古衣類を対象とした海外でのリユース実態調査

⇒平成24年度のリユース市場規模推計において、リユース市場を適切に推計するためには、衣服などの海外でのリユースの状況把握が必要とされたことから実施。

インターネットオークション・宅配リユースに関する実態調査

⇒これまで、いわゆるリユース業者に対する実態把握は進めてきており、今回、場を提供するだけの「インターネットオークション」や、宅配でリユース品の回収を行う「宅配リユース」についての実態把握を実施。

研究会のアウトプット

本年度事業を含めたモデル事業を評価／分析し、市町村等によるリユース実施手順マニュアル(仮称)を作成する。

海外でのリユース実態を把握し、リユース市場規模の推計の精緻化を図る。

民間事業者によるリユースへの様々なアプローチを比較・分析し、今後の拡大方針を検討する。

意見交換会での検討事項

リユース業を営む3団体(JRCA・JRO・JRAA)と環境省において、幅広く意見交換を行う。

分科会での検討事項

学識経験者等の参画を得て、環境法令以外のリユース業界に関わる関係法令や、リユースに係る他国の動向、リユース促進策について知見を蓄積する。

意見交換会・分科会の成果についてそれぞれ報告を受け、上記のアウトプットに活用する。